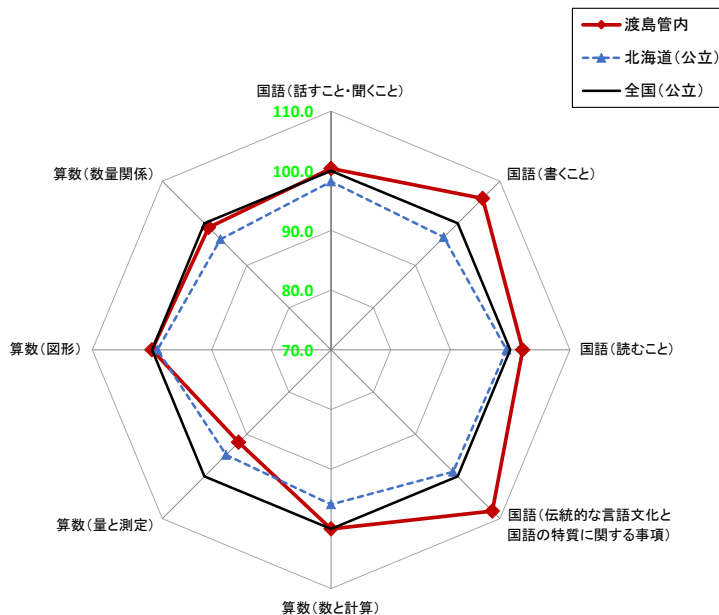


■小学校の状況(学校数:83校、児童数:2,572人)

【教科全体の状況】

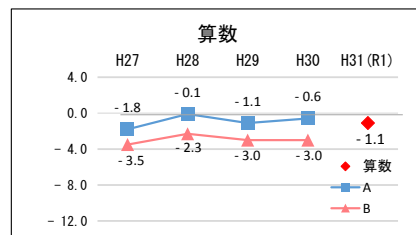
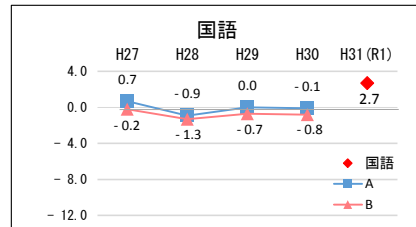
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものを
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【平均正答率】

	国語	算数
渡島	67[66.5]	66[65.5]
全国	64[63.8]	67[66.6]

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

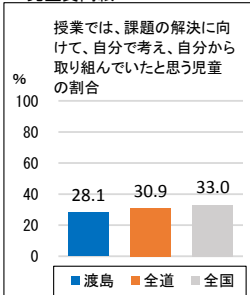


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

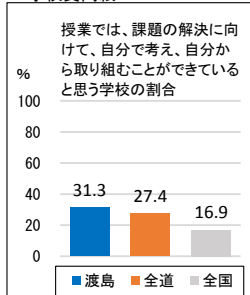
【質問紙の状況】

学習意欲、指導方法

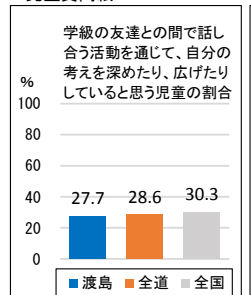
* 児童質問紙



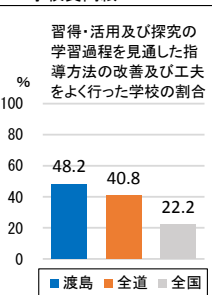
* 学校質問紙



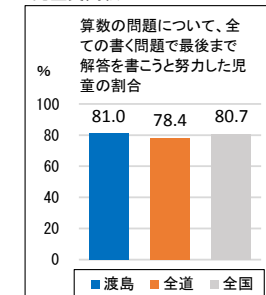
* 児童質問紙



* 学校質問紙

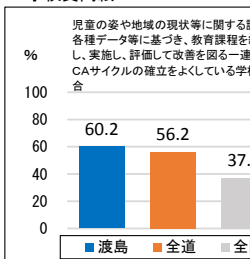


* 児童質問紙

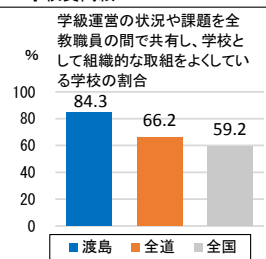


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

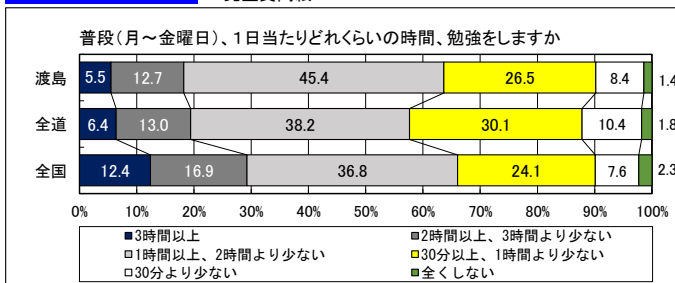


* 学校質問紙



学習習慣

* 児童質問紙



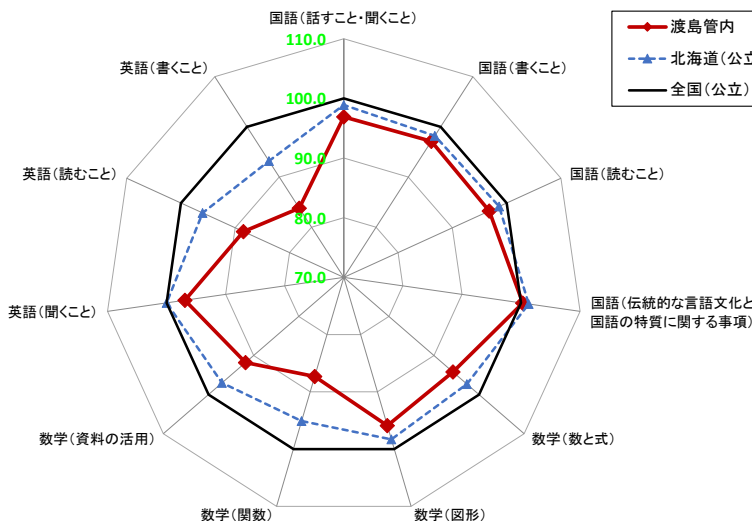
【分析及び改善の方向性】

分析	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5つの行動指標(そろえる、見せる、徹底する、見つける、守る)をステップアップさせ、「徹底する」を重点項目とし、各市町教育委員会及び学校が一体となった授業改善に取り組んだ結果、国語の全ての領域で、全国を上回っている。 ○ 渡島教育局独自事業である「授業改善プロジェクト」を各市町において推進し、授業改善について指導助言を行った結果、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思う学校の割合が、全国を上回っている。
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数では、「量と測定」「数量関係」で全国を下回ったことから、対話的に学習を進める中で、児童が自分の考えを深めたり広げたりする活動を徹底した授業改善を推進する必要がある。 ○ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思う学校の割合が全国を上回ったものの、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う児童の割合が全国を下回ったことから、日常の授業において、授業改善チェックリストを活用し、全ての子どもが主体的に学習する授業づくりを推進する必要がある。

■中学校の状況(学校数:42校、生徒数:2,653人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものと(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

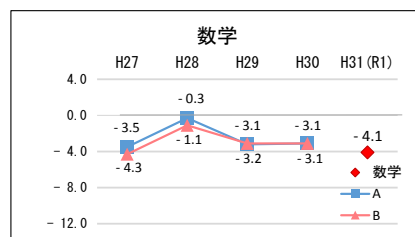
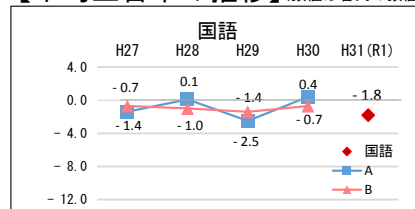


【平均正答率】

	国語	数学	英語
渡島	71[71.0]	56[55.7]	51[50.6]
全国	73[72.8]	60[59.8]	56[56.0]

※英語は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計値

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

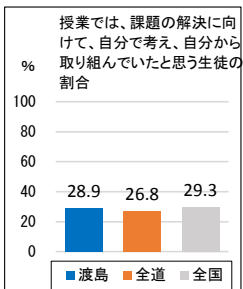


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

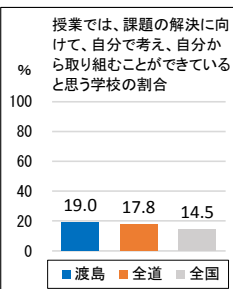
【質問紙の状況】

学習意欲、指導方法

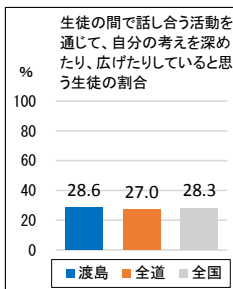
* 生徒質問紙



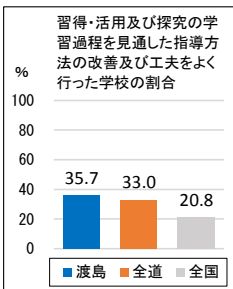
* 学校質問紙



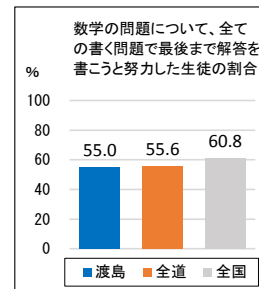
* 生徒質問紙



* 学校質問紙

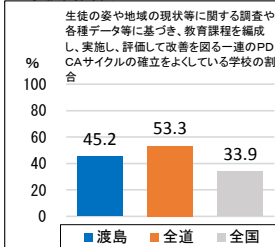


* 生徒質問紙

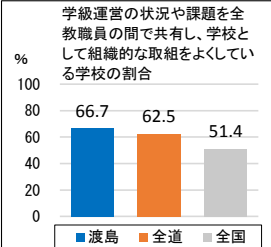


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

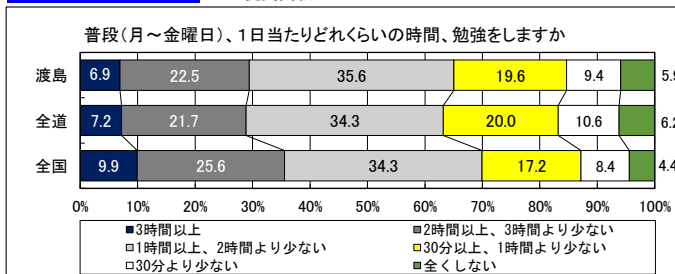


* 学校質問紙



学習習慣

* 生徒質問紙



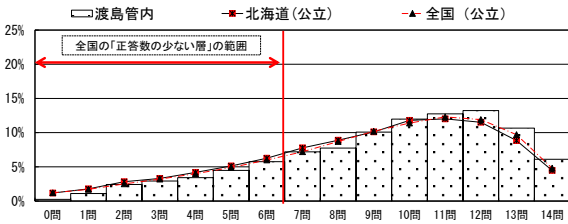
【分析及び改善の方向性】

分析	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5つの行動指標(そろえる、見せる、徹底する、見つける、守る)をステップアップさせ、「徹底する」を重点項目とし、各市町教育委員会及び学校が一体となった授業改善に取り組んだ結果、国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国を上回っている。 ○ 渡島教育局独自事業である「授業改善プロジェクト」を各市町において推進し、授業改善について指導助言を行った結果、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った学校の割合が、全国を上回っている。
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と比較し、全教科の平均正答率が下回っていることから、より一層、学習指導要領に基づく授業の質の向上を推進し、各市町教育委員会及び学校が一体となった授業改善に取り組む必要がある。 ○ 全国と比較し、特に、数学及び英語の平均正答率が差が大きいことから、数学及び英語の授業改善に向けた研修会等を活用するなど、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。

渡島管内

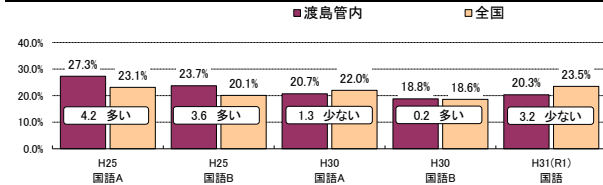
小学校国語

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
渡島管内	2,572	9.3 / 14	66.5	10.0	3.2
北海道(公立)	38,831	8.8 / 14	62.8	9.0	3.4
全国(公立)	1,028,203	8.9 / 14	63.8	10.0	3.4



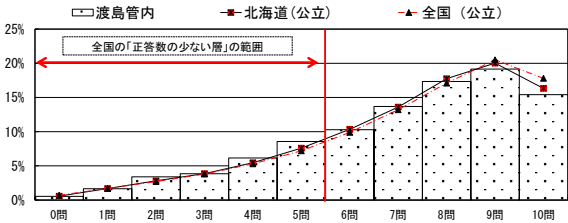
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合



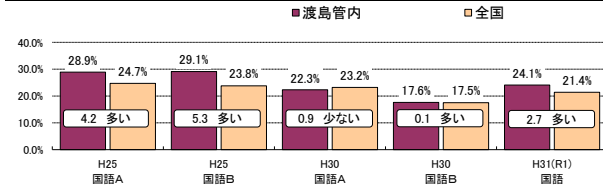
中学校国語

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
渡島管内	2,653	7.1 / 10	71.0	8.0	2.4
北海道(公立)	37,859	7.2 / 10	72.1	8.0	2.4
全国(公立)	938,797	7.3 / 10	72.8	8.0	2.4



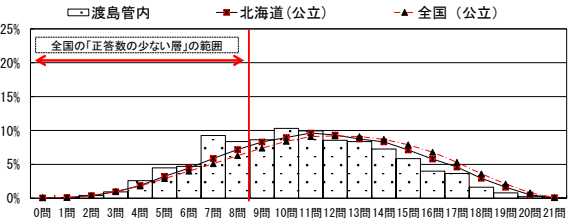
●全国の「正答数の少ない層」は、5問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



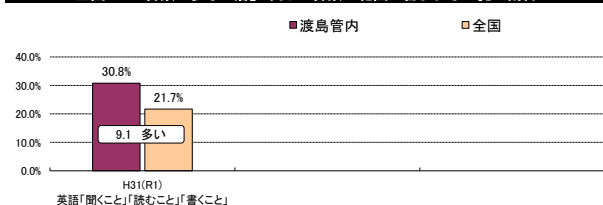
中学校英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
渡島管内	2,656	10.6 / 21	50.6	11.0	3.7
北海道(公立)	37,844	11.4 / 21	54.2	11.0	3.8
全国(公立)	938,888	11.8 / 21	56.0	12.0	3.9



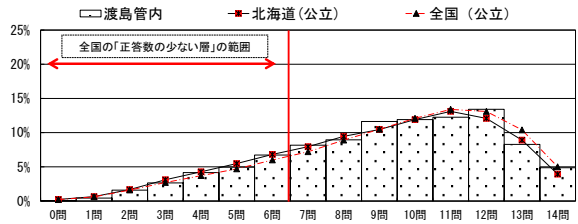
●全国の「正答数の少ない層」は、8問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



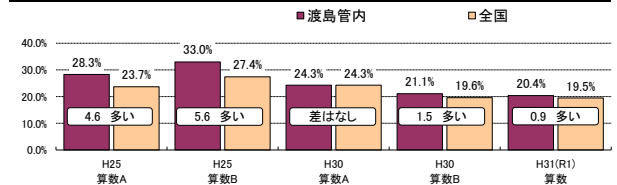
小学校算数

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
渡島管内	2,571	9.2 / 14	65.5	10.0	3.0
北海道(公立)	38,837	9.0 / 14	64.5	9.0	3.1
全国(公立)	1,028,177	9.3 / 14	66.6	10.0	3.1



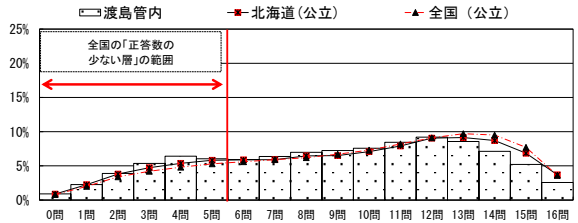
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合



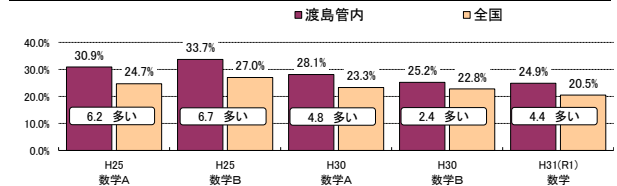
中学校数学

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
渡島管内	2,653	8.9 / 16	55.7	9.0	4.1
北海道(公立)	37,844	9.3 / 16	58.1	10.0	4.2
全国(公立)	938,887	9.6 / 16	59.8	10.0	4.2



●全国の「正答数の少ない層」は、5問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



【参考】【平成28年度(小学校)】全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

小学校国語A

渡島管内	全国
21.8%	21.3%
全国との差 0.5 多い	

小学校国語B

渡島管内	全国
32.0%	29.8%
全国との差 2.2 多い	

小学校算数A

渡島管内	全国
23.9%	24.2%
全国との差 0.3 少ない	

小学校算数B

渡島管内	全国
22.8%	20.0%
全国との差 2.8 多い	